

4世紀にわたるブラスミュージックの変遷

中村孝志 これしかない

ファイナル

I.

— ヴィルティオーゾの時代 —

🇮🇹 17世紀「カンツォンとソナタ」

ヴェネチアに開花した装飾豊かな器楽曲を
ホルネット、サクバット、セルパンなどで
Canzon primi toni (Giovanni Gabrieli) etc.

II.

— ナチュラルの黄金時代 —

🇩🇪 18世紀「アリア」

イギリスで大人気だったヘンデルのオペラとオラトリオから、
ナチュラルトランペットやナチュラルホルンが活躍する曲を
from Samson, Rinaldo, Giulio Cesare etc.

III.

— クロマティックへの挑戦 —

🇧🇪 19世紀「コンチェルト」

ウィーンの宮廷トランペット奏者A. ワイディンガーが考案した
半音階の吹けるキイ・トランペットとはどんな音色・性能だったのだろうか
Concerto per il Clarino (Joseph Haydn)

IV.

— 金管楽器による室内楽 —

🇬🇧 20世紀「モダン・ブラス」

ブラスアンサンブルの始祖、PJBEへのオマージュ
Quintet (Malcolm Arnold) etc.

2016年 1月31日(日)

午後1時開演(12時半開場) 全自由席 2,000円

浜離宮朝日ホール (地下鉄大江戸線 築地市場駅)

問い合わせ先

オフィスサワイ | 042-394-9199

E-mail: info@officesawai.com

Web: <http://www.officesawai.com>

または PXW06516@nifty.com (中村)

金管楽器 400年の歴史をその当時の楽器で聴く

クラシックのトランペットにおいて、とても重要なレパートリーがハイドンのトランペット協奏曲です。

しかし、作曲者のハイドンが当時思い描いていたトランペットというのは、現代のものとはいささか異なっています。それと同様に、メサイアを作曲したヘンデルが想定したトランペットや、ブラスアンサンブルでよく取り上げられるジョバンニ・ガブリエリの曲に使われていた楽器も、実はそれぞれの時代に応じて異なっていました。

今回は、17世紀から現代まで、金管楽器がどのように変遷しどのように活躍してきたのか、各楽器のスペシャリストを招き、それぞれの時代に応じた楽器や演奏スタイルでお送りするコンサートを企画しました。良く聴き慣れた曲でも、当時の復元楽器の演奏で聴くと、新たな一面が見えてくるのではないかと思います。



出演者紹介

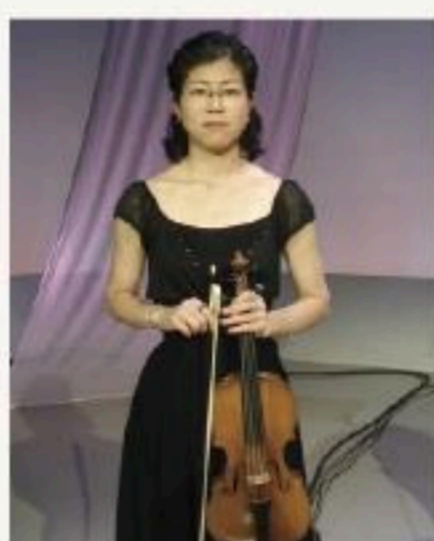


中村孝志 トランペット、コルネット

一橋大学経済学部卒業。投資顧問会社に勤務の傍ら金管ビリオド楽器を使ったバロック音楽、古典派音楽の演奏活動を行っている。コルネットおよび初期バロック演奏を濱田芳通氏に、ナチュラルトランペットをステファン・キーヴィ、ジャン＝フランソワ・マドッフの各氏に師事。モーツァルト・アカデミー・トウキョウ (MAT) メンバー、Trompeten und Pauken Consort Tokio (TuPcT) 代表。日本ヘンデル協会会員。

出演

広瀬奈緒 (ソプラノ) 高橋ちはる (アルト) 石川洋人 (テナー) 春日保人 (バリトン) 大西律子、小池吾郎、高橋真二、関口敦子 (ヴァイオリン) 上田美佐子、小林瑞葉 (ヴィオラ) 十代田光子 (チェロ) 寺田和正 (コントラバス) なかやまはるみ (ヴィオラ・ダ・ガンバ) 森綾香、小野智子 (オーボエ) 鈴木禎 (ファゴット) 大貫ひろし、間宮淳 (ホルン) 倉田京弥 (トランペット) 細川大介 (コルネット) 宮下宣子 (トロンボーン) 橋本晋哉 (チューバ) 渡部聡 (チェンバロ) 矢野薫 (オルガン) 坂本徹 (指揮) TuPcT 有志



大西律子 コンサートミストレス

国立音楽大学卒業。第14回古楽コンクール(山梨)第3位入賞。「カンタータ・ムジカ・Tokyo」「Millennium Bach Ensemble」「モーツァルト・アカデミー・トウキョウ」「ヨハネス・カントーレス」のコンサート・マスターなど、古楽・モダンを問わず様々な室内楽グループやオーケストラで活動中。国立音楽大学非常勤講師。



大貫ひろし ホルン

東京藝術大学音楽学部器楽科にて学ぶ。千葉馨、守山光三、山本真、フーベルト・ブラーデル、中川良平、小林道夫、多田逸郎、伊達良、藤井凡大の各氏に師事。数少ないバッハ、モーツァルト、ハイドンなどの宗教音楽のスペシャリストとして活躍、また近年は指揮者としても活動の場を広げている。東京バッハ・カンタータ・アンサンブル、モーツァルト・アカデミー・トウキョウ (MAT) ホルン奏者。フリーデンクラング常任指揮者。アレクテ室内管弦楽団代表。



橋本晋哉 チューバ、セルパン

バリ音楽院第3課程卒。秋吉台現代音楽セミナー、サントリー音楽財団サマーフェスティバル 2008 及び 2010、コンポージアム 2009、東京オペラシティ「B→C」、NHK-FM「名曲リサイタル」などにソリストとして出演。洗足学園音楽大学講師。「低音デュオ」「東京現音計画(2014年佐治敬三賞受賞)」のユニットで活動。



宮下宣子 トロンボーン、サクバット

東京藝術大学、同大学院修士課程修了。安宅賞受賞。文化庁海外派遣研修員としてケルン音楽大学に留学。第1回モーリス・アンドレ国際コンクール・アンサンブル部門入選。第49回毎日音楽コンクール金管楽器部門第3位。大学在学中に日本オーケストラ界初の女性金管奏者として新日本フィルハーモニー交響楽団に入団、現在に至る。伊藤清、B. スローカー、F. ポイトリノ、C. トゥート、濱田芳通各氏に師事。フェリス女学院大学非常勤講師。古楽金管アンサンブル ANGELICO 主宰。



会場へのアクセス

「築地市場駅」都営大江戸線 (A2 出口) すぐ
「築地駅」東京メトロ日比谷線 (1、2 番出口) より徒歩約 8 分
「東銀座駅」東京メトロ日比谷線/都営浅草線より徒歩約 8 分
「汐留駅」都営大江戸線/新交通ゆりかもめより徒歩約 10 分
「新橋駅」JR/東京メトロ銀座線/都営浅草線より徒歩約 15 分